

「第2回小さな自然再生サミット 2025 京都大会」 事例発表団体の募集（事例発表申込書）

2025年9月19日（金）

小さな自然再生サミット実行委員会事務局

水辺で取組む小さな自然再生の更なる深化と拡がりに向けて、全国で取組む仲間が集い、相互交流を通じて今後の新たな活動や協働に展開していくことを目的に、「小さな自然再生サミット 2025 京都大会」を開催致します。

サミットの前半では、全国で小さな自然再生に取組む方々より5分程度（発表者数で時間を決定）で活動をご紹介します。本サミットにて事例発表を頂ける方々（事例発表団体）を募集致します。

本募集案内をご覧の上、**10月6日（月）まで**に「事例発表申込書」をお申し込みください。

<概要>

- 日時： 2025年（令和7年）12月7日（日） 10:00～17:00
- 場所： 京都大学宇治キャンパス 宇治おうばくプラザ
- 主催： 小さな自然再生サミット実行委員会
- 後援： 国土交通省、環境省、公益財団法人リバーフロント研究所 ※申請手続中
- 協賛： 準備中

<開催趣旨> テーマ： **みんなで考える「小さな自然再生」の次の一手**

- 河川・水辺における小さな自然再生の取組をさらに深化・拡大させることを目的に、全国の実践者が集い相互交流を通じて今後の新たな活動や協働に展開していく機会として開催する。
- 「小さな自然再生が全国でさらに展開されるためにこれから注力すべきことは何か？（次の一手）」を参加者とともに楽しく考え、「これをやっぴいこう！」と参加者でコミットメントできる機会とする。
- 参加者で事例やアイデアを共有し議論することで相互の化学反応を生み出し、自然発生的に今後の方向性やコミットメントが湧いてくるようなワクワクした一日とする。

<開催日時> 2025年12月7日（日） 10:00～17:00

※（オプションプログラム）サイドイベント： 前日12月6日（土） 午後：研修会、夜：懇親会

<開催場所> 京都大学宇治キャンパス 宇治おうばくプラザ

<定員> 200人～300人規模を想定

<参加費> 無料

<サミットプログラム（予定）> ※12/7（日）開催

- 10:00 : **サミット開会**
- 10:10～12:30 : **全国事例発表**
 - ・3～5分／1事例で、冒頭で全員に順番に発表頂く。
 - ・事例発表は指定の5枚パワポテンプレートで実施する。
(①②自分の活動を紹介する写真2枚、③悩み事、④知りたいこと、⑤コラボしたいことや人)
- 12:30～13:30 : **昼食&ポスター等交流**
 - ・昼食時間帯にポスター発表のように交流できる時間を設ける。
- 13:30～16:00 : **パネルディスカッション**
 - ・小さな自然再生の次の一手を会場と双方向で考える時間とする。
 - ・議論の論点キーワード（案） ※第1回実行委員会でのアイデア

担い手のもう一步を後押しするノウハウ、担い手の悩みとその解決策、行政の施策への連結性、河川以外の専門分野や境界領域への拡張、河川法令上の留意点と安全管理、応援団となり得る河川管理者や技術者の人材育成&環境教育ツールとしての価値、地元との合意形成と基礎自治体の役割、ビジネスとしての小さな自然再生、奇想天外な小技術など新技術、リジェネラティブツーリズム、持続的活動としていくためのノウハウ、小さな自然再生から公共事業としての恒久施設への展開 etc.

 - ・成果は「サミット京都宣言」として集約し、実行委員サイン&参加者全員で宣言を囲み記念撮影。
- 16:00～17:00 : **茶話会** @キハダレストラン
 - ・1時間の交流の時間を設け、横のつながり構築の機会を創る。
- 17:00 : **サミット閉会**

<サイドイベント（予定）> ※12/6（土）開催

- 午後 : 小さな自然再生現地研修会 in 滋賀県・犬上川
 - ・滋賀県立大学環境科学部の瀧健太郎教授及び瀧研究室の協力を得て、滋賀県立大学の横を流れる犬上川をフィールドに、座学と現地視察で構成する小さな自然再生研修会を開催
 - ・13:00 南彦根駅（JR 琵琶湖線）集合 → 研修会 → 16:30 南彦根駅 解散
- 夜 : 有志メンバーによるプレ懇親会を開催する。（京都駅周辺にて開催。事前申込制。）

<主催者> 小さな自然再生サミット実行委員会

■ **実行委員長**： 中村 太士（北海道大学大学院農学研究院 名誉教授）

■ **実行委員**： (五十音順)

氏名	所属
今井 洋太	神戸市立工業高等専門学校
伊豫岡 宏樹	九州産業大学建築都市工学部
佐藤 祐一	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
杉野 伸義	KANSOテクノス
瀧 健太郎	滋賀県立大学環境科学部湖沼流域管理研究センター
竹内 えり子	建設技術研究所
武田 みゆき	日本環境NPOネットワーク
田原 大輔	福井県立大学海洋生物資源学部
中村 太士	北海道大学大学院農学研究院
林 博徳	九州大学工学研究院環境社会部門
原田 守啓	岐阜大学 高等研究院環境社会共生体研究センター
町田 善康	美幌博物館
三橋 弘宗	兵庫県立人と自然の博物館
山下 慎吾	環境省自然環境局生物多様性センター

<事務局 構成メンバー>

■ **事務局長**： 和田 彰（公益財団法人リバーフロント研究所）

■ **事務局員**： 佐藤 充人、白尾 豪宏、鈴木 敏弘（公益財団法人リバーフロント研究所）

<事例発表に関わる今後の主なスケジュール（予定）>

- 9月下旬： 事例発表団体の募集開始
- 10月6日（月）： **事例発表団体の募集〆切**
- 10月中旬： 事例発表団体の公表、事例発表団体を含むチラシ第2報告知
- 10月下旬： **発表資料作成要領（含：パワポテンプレート）**、発表に際しての注意事項等をご案内
- 12/6（土）： サイドイベント開催 @滋賀県犬上川&滋賀県立大学
- 12/7（日）： サミット開催 @京都大学宇治キャンパス 宇治おうばくプラザ
- 2月： 開催報告書内に発表資料掲載→公開

<事例発表の申込方法>

- 次頁の「事例発表申込書」に記入の上、事務局（collabosummit2025@rfc.or.jp）までメールで送付してください。
- 締め切りは**2025年10月6日（月）必着**です。
- 発表申込を事務局で受け付け次第、こちらよりご連絡を差し上げます。

『第2回小さな自然再生サミット2025京都大会』事例発表申込書

小さな自然再生サミット実行委員会 御中

「小さな自然再生サミット2025京都大会」における事例発表を下記の通り申し込みます。

申込年月日	西暦 年 月 日
応募者名	
発表者名 ※1	
発表タイトル(案) ※2	
団体名	
団体ホームページURL ※3	
住所	〒
TEL	
E-MAIL	
その他ご要望やご質問等 (自由記述)	

※1：発表者が未決定の場合は記載不要です。

※2：発表タイトル(案)は10月に再度確認しますので、現時点のタイトルで結構です。(変更可能)
「2019神戸大会」の発表事例タイトルは以下よりご覧頂けます。→ <https://x.gd/cq2Sn>

※3：ホームページが無い場合は記載不要です。

※「事例発表申込書」のワードファイルは以下よりダウンロード頂けます。

<https://www.rfc.or.jp/presenentrycollaboriversummit2025.docx>

以上